

あさかぜ

高知学芸高等学校同窓会関東支部

機関誌 34号

2021.9

〒263-0005

千葉県千葉市稲毛区

長沼町263-16-3 石川明男

TEL. 043(257)2614

FAX. 043(257)2614

第34回関東支部総会は
関東支部同窓会幹事会が10月23日(土)に
オンラインで開催します！

第33回(2020年)関東支部総会レポート

特別授業レポート

国際生物学オリンピックについて

横田 道雄 先生(生物)

SPECIALインタビュー

女優 山元 由湖さん(24期)

各期の声・特別寄稿

第34回総会 特別授業・特別企画のお知らせ

高知学芸高校同窓会関東支部 第34回総会のご案内

第33回（2020年） 関東支部総会 開催

コロナ禍で同窓会本部・支部の総会中止が相次ぐ中、初のオンライン総会を昨年10月24日に開催しました。

関東支部幹事会が都内会議室から配信、同窓生は自宅参加、同窓会本部からは、西川博行同窓会本部会長（6期）、福田恵美副会長（6期）、森木弘道顧問（6期）、浜田祥夫常任幹事（19期）、学校からは、橋本和紀校長先生、横田道雄先生、森下表先生、蒲原宜彦先生、北川智先生、



第33回 オンライン総会風景



同窓会本部 西川会長

中国支部からは、平石浩治さん（25期）、平石千津さん（25期）を学芸高校教室から迎え、伊野部京子さん（23期）司会のもと総勢60名近くの方が参加する総会となりました。

第一部の総会は、石川明男関東支部長（6期）による活動報告や、西会計担当（29期）による会計報告（詳細は22ページ参照）、前田会計監査担当（30期）による監査報告が行われました。また、ご来賓の方々の紹介とともに、西川同窓会本部会長、橋本校長先生にご挨拶頂きました。西川同窓会本部会長からは、コロナ禍での同窓会支部の状況を共有頂いた後、高知からの明るい話題を紹介頂きました。

「足摺岬を擁する土佐清水市にある足摺海洋館が全面改築され、今年（2020年）7月18日に「SATOMI」というネーミングでオープンし、素晴らしい施設と展示で、一か月後には入館者が想定

より2か月早く5万人を超え、周辺の観光施設も大変賑わっています。関東の皆さんも次の里帰りの際は足を延ばしてみたいかがでしょうか？」

橋本校長先生からは、学校の様子を紹介頂きました。

「今年度（2020年度）はコロナで5月末まで休校で、授業時数確保のため8月の夏休みをほぼ半分にして8月18日から二学期を始めており、研修旅行中止など、学校行事は随分と変更が生じています。

今年の学芸の一番大きな話題は、この夏に高校3年生が、国際生物学オリンピックに日本代表として出場し、見事に銀メダルを獲得したことです。これは5年前に国際化学オリンピックで、同じく高校3年生の内君が銀メダルを受賞して以来の快挙です。

また、本校での今春の国公立大学受験者の合格率は、過去十年間で一



橋本校長先生

番でした。今春は、近年学芸が行っている課題研究を始めた学年が大学受験し、課題研究で積極的かつ意欲的に取り組む生徒が推薦入試やAO入試で活躍しており大変うれしく思っています。

今年からは、この課題研究を中学生にも拡げ、中高一貫の取り組みとしてより充実させて行きたいと考えています。」

第二部の特別授業は、国際生物学オリンピック2020で見事銀メダルを獲得した金久礼武さんを指導した横田道雄先生から、本大会への参加経緯や苦労話などをお話頂きました。終了後、「さよならは言わない」を斉唱しました。

第三部は、コロナ禍で発表機会が減っている部活動の発表会として、マンドリン部、コーラス部、吹奏楽部から素晴らしい演奏が披露されました。参加者が、オンライン会議ツールにコメントをどんどん書き込んで盛り上がりました。

最後に、学芸讃歌を斉唱して閉会しました。閉会後は、先生方と現役の学生、同窓会本部役員と同窓生の方々とで、オンライン懇談会も開かれて大いに盛り上がりました。

（36期 藤原清幸 記）

特別授業

国際生物学

オリンピッククについて

横田道雄先生(生物)



朝、学校の駐車場に着くと、車から校舎に向けて神田川沿いを歩くのですが、そこには随分とギンナンが落ちています。イチヨウの木も随分と大きくなったと思いつながら、ギンナンを避けながら歩いていきます。また、昨日は、ちよつと早いと思いましたが、メジロがキンモクセイの間を飛んでいました。学芸というのは、非常に自然に恵まれている、そして、四季の変化を感じる事ができる学校だと思えます。

今日は、国際生物学オリンピックで、銀メダルを獲得した、本校三年生の金久(かねひさ)礼武(れん)君そして、国際生物学オリンピックがどういう大会であるか、ということについて紹介します。

【金久君について】

金久君は、大変おらかで、学習意欲の高い、特に、自然科学に対しての興味が強い生徒さんです。中学校の時には、数学オリンピックジュニアで、日本の大会に出場するくらい、自然科学全般に興味を持たれていると思います。

また、理科部にも所属しており、現在三連覇中(高知県代表として、第7回〜第9回)の科学の甲子園全国大会にも高校一年生の時からメンバーとして参加しています。

スライドは、浜田高知県知事のところへ表敬訪問した時のものですが、学校長は大体、私と同じくらい



浜田高知県知事への表敬訪問

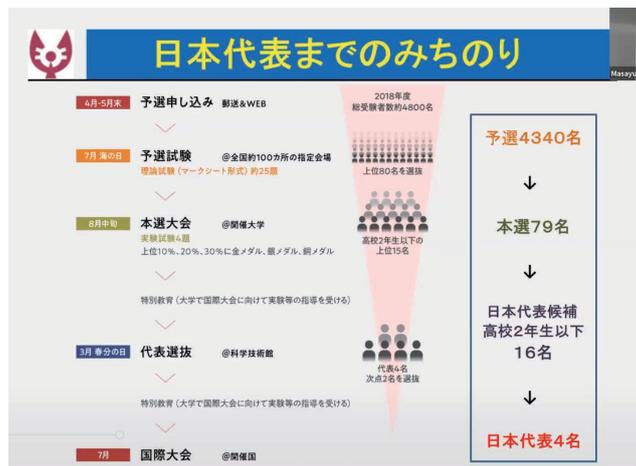
の身長(175センチ)だと思うのですけど、金久くんは浜田知事と大體同じくらいの身長でした。

表敬訪問は、非常に和やかな時間でしたけども、浜田知事の方から、「生物は好きですか?犬とか、猫とか好きですか?」と質問があったときに、金久君は、「犬とか猫はちよつと苦手です。でも、遺伝子とかは大変興味があります。」と答えて、ちよつと、みんなで笑いました。

【国際生物学オリンピックについて】

ここで国際生物学オリンピックについて少しご紹介します。これは、生物学に関心を持つ高校生などを対象とした、今年31年目の世界的なコンテストで、生物学の発展に加えて、国際交流も目的としています。

次のスライド(下図参照)は、日本代表までのみちのりです。まずは、2019年7月に予選試験(4340名)があり、その後の8月の本選に、予選試験で選ばれた79名が進みました。ここで、次の年の国際大会に向けて、高校2年生以下の上位16名が選ばれ、半年後(2020年3月)の代表選抜試験に進みました。代表選抜試験で、代表4名を選び、7月の国際大会に臨みました。



【予選試験について】

一番最初の予選試験は、2019年7月に、全国114会場、高知県は高知大学で行われましたが、マークシート形式の理論問題で、時間90分です。

予選試験の問題をもってきました(次頁)。問1は教科書にもたくさん出てくるようになった遺伝子の問題で、本校では高校2年生で学習している内容です。問23は、系統樹と書いて教科書の最後に出てくる内容です。答えはIなのですが、面白いのは、この答えの○×で終わるのではなくて、AやGを選んだ生徒さんにも部分点がつきます。全体的

に、こういう形で選抜をされているようです。

金久君は、この時、高校2年生で、3年生の内容まで全部学んでしまったから、一年先の学習ができていた、基本が終わっていたんじゃないかと思っています。レベル的には、センター試験レベルの基本的な内容が多いです。金久君は、予選を通過し、4340名分の79名に入っており、2%程ですから大変な難関です。

〔本選に向けてのトレーニング〕

本選が実験中心となることから、学校で顕微鏡のトレーニングをしました。これ（下図）は、金久君がプレパラートを作って撮影したもので

予選試験の問題

問1) ヒトのあるタンパク質をコードするcDNAをプラスミドに組み込み、これを大腸菌体内で発現させたい。この遺伝子を発現させるためには、どのような操作を行えばよいか。適切な操作をA-Fから選べ。なお、図中のAmp^rは薬剤耐性遺伝子の1つであるアンピシリン耐性遺伝子を示す。(4点)

A. アにヒトのエンハンサーを入れる。
 B. アに大腸菌のプロモーターを入れる。
 C. アにヒトのエンハンサーを入れる。
 D. イにヒトのプロモーターを入れる。
 E. イに大腸菌のリプレッサーを入れる。
 F. ウにヒトの発現開始点を入れる。

問2) 次の図は動物の系統図の一部である。系統図のaとbのそれぞれで標榜した胎芽およびcとdに入る生物名の組合せとして正しいものをA~Lから選べ。(5点)

	a	b	c	d
A	豚	牛	ヒト	ハブ
B	豚	牛	ヒト	ハブ
C	豚	牛	ヒト	ハブ
D	豚	牛	ヒト	ハブ
E	豚	牛	ヒト	ハブ
F	豚	牛	ヒト	ハブ
G	豚	牛	ヒト	ハブ
H	豚	牛	ヒト	ハブ
I	豚	牛	ヒト	ハブ
J	豚	牛	ヒト	ハブ
K	豚	牛	ヒト	ハブ
L	豚	牛	ヒト	ハブ

本選に向けてのトレーニング(学芸)

プレパラートの作成

本人が市販のデジタルカメラで撮影したもの

植物の維管束 ヒトの血球

す。左の写真は、植物の維管束で、植物の茎を薄く切って染色し、見た部分を拡大して、接眼レンズのところにデジタルカメラを持って来て、調整しながら撮影しました。右のヒトの血球は、私の血液ですが、ここはちよつと貢献したのかな?と思います。

次に、学校でできない実験もありました。本人がやりたいと言う、DNAを抽出して、今よく話題になるPCRによって増幅し、電気泳動にかける実験を、高知大学にお願いして二日間行いました。金久君は、この実験で、年を取って使うと震えてしまいがちなマイクローピット

参考図書

トを初めて使ったようですが、震えずに使用していることに驚き、若いだけではなく、余り緊張しないのではないかと感じました。

次に金久君が勉強した本を紹介します(左図)。一番中心となるのが、キャンベル生物学で、世界の生物学の教科書と言っても良いと思います。その他、教科書、問題集、図説など、学校で使っているものが、その左側に置いています。このキャンベル生物学は、1600ページあり、重さは2.6キログラムと、小さい赤ちゃん程ありますが、金久君は、これを黙々と勉強し続けました。

〔本選と強化合宿について〕

次の本選は、2019年8月に、本番の国際大会と同じ長崎で開催されました。

本選は実験試験で、植物生理学(100分)、生物情報学(100分)、動物行動学と遺伝学(120分)と、なかなか長いです。今回は台風のために、ちよつと日程が短くなりました。実験を一つ減らしたと思いますが、本格的には準備されていた実験試験を、これだけの時間をかけて行いました。

動物行動学と遺伝学の実験問題ですが(右図)、実験で使うので、ショウジョウバエを観察するための実験

実験問題Ⅲ 動物行動学と遺伝学①

1. 予備体験(55分)

ショウジョウバエの観察

実験器具の作成

図1: ショウジョウバエのオスのメスの違い

図2: 観察器具の作製と完成図

器具を作る、という予備体験を1時間程して、問題に入ります(左図)。大学入試でいうと二次試験レベルだと思います。

本選の評価項目ですが、観察し、記述できていること、行った実験の計画が目的に必要であること、まとめが明解であって、論理的な考察ができています。そして、日本代表候補の選考基準として、知識に頼ったものではなく、自分で考えた実験プランをもとに考察を行っている。答えを重視、国際大会で半分のエイトを占める実験試験で力を発揮できる人、です。金久君はこういうことができているのだと思います。

実験問題Ⅲ 動物行動学と遺伝学②

2. 試験問題(抜粋)

課題1 野生型の求愛行動について

観察記録(図・記載)をとりなさい。

課題2 (省略)

課題3 正常な遺伝子の機能について

実験と関連づけ論理的に考察しなさい。

金久君の本選の結果ですが、高三生も含めて銅メダルを獲得しました。この時に高校二年生以下の日本代表候補にも選ばれました。他県の日本代表候補を見てみますと、東京都や兵庫県など都市部の錚々たる進学校の名前が並んでいます。

この後、日本代表選抜試験までの間に半年あるんですが、12月に日本代表候補に選ばれた16名が東京に集まって強化合宿を行いました。実験中心で、今非常に出題が多くなっている生物統計学などを、東京大学や東京理科大学の大学院にて学びました。2泊3日のなかなか厳しいトレーニングではないかと思えます。

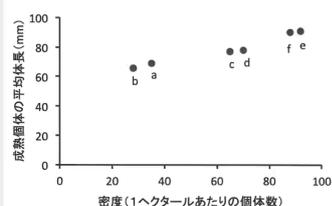
「日本代表選抜試験について」

2020年3月になって、いよいよ代表選抜試験が、国際大会と同じ分野について行われました。これも一つ問題を持つてきました(右下図)が、考えてみると非常に面白い問題で、解答例(1)は、授業では、個体群密度と比べて、密度が高くなる、生活空間が狭くなったり、食べ物が減ったりするから、個体は小さくなるかと教えます。すると、問題のデータはそうではないので、なぜそうなるか?という考察、まさに、学んだ知識の応用力が問われます。

代表選抜試験 動物生態学(抜粋)

問3 6つの島に生息するトカゲの密度と体長を求めた。これらの島では、aとbにトカゲの天敵ヘビ類とイタチ類が生息し、cとdにはヘビ類のみ、eとfにはいずれも生息していなかった。

- (1)このグラフから言えることを2つ簡潔書きにしなさい。
- (2)どうしてこのような結果となったのか、考察しなさい。



代表選抜試験は、このような深い考察力を問う問題や、かなり長い文章を書かないといけない問題が続きました。このような選抜試験の結果、

金久君は、代表の最終4名に残りました。他校の代表の方や、補欠の次点者を見ても、かなり優秀な生徒さんばかりだと思えます。

「国際大会中止からリモート大会へ」

国際大会(長崎大会)は、新型コロナウイルスの影響から、代表選抜試験後に中止が決定されました。金久君は、とても残念がっていました。というのも、国際大会は、8泊9日で、そのうち試験は2日間ですが、その他は、日本文化に関するワークショップ

代表選抜試験 動物生態学(出題の意図と解答例)

【出題の意図】

データから何が読み取れるか、生態学的法則性について、学んだ知識の応用力を問う。

【解答例】

問3

- (1) トカゲの天敵が多い島ではトカゲの密度が低く、天敵が少ない島ではトカゲの密度が高くなる。
天敵が少なく、トカゲの密度が高いほど、成熟個体の平均体長が大きくなる。
- (2) 天敵がない、あるいは少ないと、トカゲの密度が高くなる。密度が高いと餌をめぐる種内競争が強く作用するため、種内競争に勝つて大型個体有利になる。そのため、天敵が少なくて高密度になる島ほど、成熟個体の平均体長が大きくなったと考えられる。

プがあつたり、エクスカージョン、野外の観察会のようなものがあつたり、自身の充実した日程が組まれていたからです。

少し経ってからリモート大会(IBO2020チャレンジ)の開催が決定しました。8月11日と12日に、世界53か国から202名の中高生が参加して行われました。金久君は、自分の力を試せる場ができて良かったと、言っていました。

これがリモート大会の様子(次頁)で、左の上、代表4名がお揃いのスーツを着て、ホテルの前で写した写真のようです。そして、その下、これは、右上が、金久君で、開会式での選手

宣誓の様子です。そして、右側が実際の試験の様子で、コンピュータにデータを入力しながら分析しているところだと思えますが、このような形で試験が進められました。金久君によると、試験は、比較的簡単に思ったが、量が多くて、行きつけない問題があったという話でした。

金久君の結果は、銀メダルということで、金メダルが上位の10%で、銀メダルは、その次の上位20%ということなので、かなりの難関だと思います。

試験から一月ちよつとして、本人にメダルが送られてきて、そのメダルの中を見てみますと、トキがデザ



インされています。気になって調べたところ、金メダルは、長崎県の花木であるヤブツバキがデザインされていました。

その後、冒頭でも紹介した浜田高知県知事の表敬訪問があり、その後、文部科学大臣表彰や、それを受けた読売新聞への掲載がありました。

「大会後のオンライン国際交流」

リモート大会終了後、金久君は、国際グループプロジェクトに取り組んでいます。これは、オンラインでの国際交流ということで、金久君以外の外国の3名と一緒に、4種類のテーマから選択してZoomを使って研究を行っています。金久君



国際グループプロジェクト

国際グループプロジェクトについて

IBO Challenge 2020

International Group Project

オンラインでの国際交流。4名(別々の国)で、「進化」「多様性と海洋」「ゲノム編集」「感染症」の4種類のテーマから選択。

成果物は、ポスターなどによってWebサイトで公開される予定。

は、今年ノーベル賞も出たゲノム編集について研究しています。英語で行うので、大丈夫？と聞いてみると、まあ、なんとか、ということ、進めるようです。

「おわりに」

私が学芸高校に来たのは、今から約30年ほど前です。もともと県立の学校で勤めてまして、理科の全科目、ときには数学も教えたりしていました。学芸での勤務のお話を頂いた時に、学芸に来れば、ずっと生物を教えることができるのかな？と考えたり、また、学芸の理科の先生は大変優秀な先生が多いから、というお話を聞いて、学芸に移ってくることを



決めました。学芸に勤めたことで、たくさんの優秀な生徒さんに出会いましたし、また、個性的な先生方のお世話になることもできたのではないかと、そして、今回の金久君のような生徒さんにも出会うことができ、大変、感謝しております。

学芸では5年前、国際化学オリンピックで、竹内碧君が銀メダルを獲得し、今回、金久君が再び世界の舞台で銀メダルに輝きました。この学芸の伝統と、めぐまれた環境の中で、再び、オリンピックのメダリストが出ることを期待して、私の授業を終わらせて頂きたいと思えます。どうもありがとうございました。

第33回 (2020年)

関東支部同窓会

特別企画 写真特集

従来は、関東支部総会の後は、同窓会・懇親会を開催していましたが、今回はオンライン開催のため、特別企画として、部活動報告を開催しました。これは、我々の母校である高知学芸高校の生徒の皆さんが部活動の成果を発揮するはずの発表会やイベントの場が、コロナ禍によって中止や縮小になっていることを踏まえて企画し、現役のコーラス部、マンドリン部、吹奏楽部の皆さんにご参加頂き、素晴らしい演奏を披露して頂きました。

最後に「学芸賛歌」をオンライン参加者全員で斉唱し、お開きとなりました。お開き後は、先生方と現役の学生、同窓会本部役員と同窓生の方々とで、オンライン双方向での懇談が行われ、旧交を温めました。

今年の第34回総会は、10月23日(土)に、昨年に引き続き、オンラインでの開催を予定しております。オンラインを活かした企画を検討中です。ので、奮ってご参加ください。



関東支部幹事会の皆さん



学芸高校からご参加の皆さん



部活動発表の始まり！



マンドリン部の挨拶



マンドリン部の演奏



練習風景

マンドリン部の練習風景



コーラス部の挨拶



コーラス部の合唱



コーラス部 坂本先生の指揮



吹奏楽部 三谷先生の挨拶



吹奏楽部の演奏



吹奏楽部の練習風景



SPECIAL
インタビュー

女優、ラジオ・パーソナリティーとして活躍と同時にたくましい母

山元 由湖さん(24期)

音楽大学卒業後、20代後半で女優となり、同時に子育てにも奮戦。どんな困難にもぶっつけ本番で立ち向かって来た由湖さんの奮闘記を、映画監督で、たまには役者業もしている先輩が根掘り葉掘り聞き倒します!! (聞き手 11期内藤忠司)



<山元 由湖 (やまもと ゆこ) さん PROFILE >

- ・生年月日：1964年8月14日
- ・特技：独り言、うた(演歌～童謡・クラシック)
- ・趣味：右脳教育、子育て
- ・略歴：武蔵野音楽大学 声楽学科卒業
高知放送ラジオリポーター
高知市立朝倉中学校音楽教師
各芸能プロダクション 役者講師
- ・ブログ <https://ameblo.jp/yukonda/>
- ・Twitter <https://mobile.twitter.com/yukonda21>
- ・ラジオフューズ
水曜日 12:00～13:30「ゆっこことふりーたいむ」
月曜日 21:30～22:00「吉や虹色チャンネル」

◆4月でしたかね、由湖さんのラジオ番組に出演したのは、そうですね。

◆あの時は、由湖さん司会で、私がゲストでしたけども、今日はその逆で、由湖さんをゲストに色々と根掘り葉掘り聞こうかなと。

色々聞いて下さい。何も隠し事ないので(笑)。

◆まず、出身はどちらですか？

中村で生まれ、育ちは高知、須崎で、小学校からは高知市五台山です。

◆学芸は中学校から？
そうです。

◆サークルは何？

中学校の一番最初はソフト部で、途中からバスケットに移り、高校はバレー部でしたね。

◆え、ちょっと待って、ソフト、

バスケット、バレー？

そう！あまり一つの事に定着できないタイプでしたね。

◆由湖さん入った時は、

もう演劇部ってありました？
中学校で、あつた事はあつたんですけど、私は「ガラスの仮面」を見て、その世界に入りたいたいと思って演劇部に入ったら、まあ何でしょう、行った初日なので大した事できない筈じゃないですか、そしたら、「うわっ凄い、うまい、入って！」って

言われて、え？私でうまいっていう程度だったら、入ってもそんなに伸びないと思つたから、やめちゃったんですよ(笑)。

◆きっかけは「ガラスの仮面」か。

結構多いよね、由湖さん世代は。

そうそうそう。北島マヤにあこがれて。マヤにはなれないけどね(笑)。

◆じゃ、中学高校はスポーツ系で。

そう。合唱部は中高で幽霊部員に、みたいな感じですけど所属はしてません(笑)。

◆ほとんど参加はせず？

大会の時だけ。大会の時には呼ばれて、合宿までして。出されましたっていう言い方もおかしいですけど、出して貰いました。

◆練習しないで大会だけ出て一番美味いところ持って行ってたのね。そうそう(笑)。

◆武蔵野音大だけ。

大学は武蔵野音大、声楽科です。

◆合唱部だったから、歌が好きだったからという理由？

元々は歌が好きで、ロック歌手になりたいって。高校時代にロックバンドを組んでたんですよ。それでボーカルをやらせて貰って。そこで父親にロックバンドの歌手になりたいって言ったら基礎からやれって言われて、音大に入ったっていう。

◆ロックをやるのに基礎から？(笑)

そうですね、音符も読めて、クラシックの方の発声もできるように

なつてから言えと。

◆それをやってから、じゃあ別に、そこからロックに行つて良いと。

うん。

◆クラシックをやるといふ事に

対しては抵抗はなかった？

違つじやないですか、ロックとクラシックは。どういふ事だ？つていふ事にはなつたんですけれど、まあ、うちの父親、九州男児なので。佐賀です。なので、言い出したら後にもひかないし、まあそれで許してくれるんだつたら、じゃあやりましようつていふ事で一浪して大学に入りました。

◆クラシックのピアニストは、子供の頃からやつてないと無理でしやう？ジャズやロックは、割と中学や高校から始めた人が多いよね。バンドの場合はまた違つてくるのかな。

私はクラシックをやつた事によつて、裏声が見えるようになったのはやっぱり大きかつたですね。それは芝居に対してもそうだったし、自分の歌に対してもそうだったし。裏声を鍛えた事によつて広がつたので凄くありがたかつたです。

◆特技に「演歌・童謡クラシック」つて書いてあるから、どういふ事なのかと思つてたけど、その辺からつながつてくるのね。

ジャンルが決まつてないんです。芝居もそうなんですけど、「こつこつ芝居しかできない」つていふのが私は好きじゃなくて。それはね、中学校、高校の部活を見て貰つたらわかるように、一個の事で秀でられないうつていふ欲張りな。

◆大学では特にサークルは？

同期の浜口みちこさんに誘われて、東大のフォーク研究会かな、研



聞き手の内藤さん (11期)

究グループなのかな、そこに在籍してましたね。

◆東京の他の大学でも参加できる？

そうなんです。なぜか武蔵野音大のサークルではなくて、全然違う大学のフォーク研究会という所に所属してました。

◆という事はロックからフォークつていふのは、何かあつたの？

いや、もう名前がフォークつていふだけでやつた事はロックから何から色んな事やつてましたけどね。

◆何か楽器をやつてたの？

いや、ボーカルだけです。

◆学芸の時は、どんな種類の音楽をやつてたの？

私の趣味ではなくて、ギターの人、このギターを弾きたいから、由湖、歌つてくれないうか？俺このベースを弾きたいから、由湖、歌つてくれないうか？みたいな感じでしたね。だから私の歌いたい歌とか言つてはなくて、みんなが自分のやりたい事を披露したいからこの曲やろう、みたいな感じだったので、シーナ・イーストンから、もんだ&ブラザー

ズから、カルメン・マキから、色んな歌を歌わせて頂きましたね(笑)。

◆で、その東大のフォークでは、

どんなものを？

優しい歌が多かつた記憶が。確かにフォーク研究会だな、今考えたら、つて感じですね。高校時代から比べると優しい感じを歌つた記憶が残つてますね。

◆演劇部を中一で辞めてから、お芝居そのものに興味を持ったのはいつぐらいから？

お芝居はね、全然興味がないつて言つたら変ですけど、ただ単に歌をやりたいつて音大に入つて、音大をやつてる時に、クラシックがちよつと歌えるようになったのでミュージカルを受けて受かつたところ、芝居ができないという話になつて(笑)。フロムエーつていふ雑誌に載つたオーディションに400人の内の10何名ぐらいに受かつた事がきっかけで、「歌しか出来ません」つて言つてやつたんですけど(笑)、「いや、お芝居やつて貰わないと困ります」みたいな話から、じゃあ、お芝居は勉強しましよつていふ事で、じゃあその作家さんが、自分が劇団持つ

てるから自分とここでやりますか？っていうような事の流れから、じゃあ勉強させて下さいっていう事で、芝居の勉強し始めて今に至る、みたいな感じですね。

◆じゃあ「方南ぐみ」の主催者。そうですそうです、樫田正剛。

◆久里きなちゃん(童謡歌手23期)も国立音大でミュージカルをやりたいって養成所に入ったんだよね。同じなのかね、やっぱり、そういうミュージカルから芝居の方へ行くという。そうですね。

◆栗原小巻さんはバレリーナをやっていて、演技ができないと駄目だと言われて、俳優座養成所に入って、そっち行っちゃった人なんだよね。

栗原小巻さんと同じなんて嬉しいですね！

◆意外と芝居の魅力にはまっちゃったって人は多いみたいね。

それで結局ミュージカルは何もやってないんですけどね。私(笑)。

◆出てないのか(笑)。
出てないんですよ。私は芝居だけ。

◆私、一本だけ書いた舞台がロックミュージカル。アナーキーの藤沼伸一さんが曲で。

色々凄いですね、内藤先輩。

◆器用貧乏なの(笑)。それで、オーディションを受けたのは学生時代？

いや、その前にですね、私、大学卒業してから一回高知に戻ったんですね。その時にはRKCという高知放送でラジオレポートを一年程。後は朝倉中学校という公立中学校で臨時講師をやらせて貰いました。

◆RKCは社員ではなくて？

契約で一年と半年、ラジオレポートという事だけをやらせて貰いました。いわゆるラジオカーがお邪魔します！みたいな。高知の人は多分知ってるかもしれないんですけど、ラジオカーという派手な車に乗ってですね、高知県を縦横無尽に出かけ、レポートしたり、色んな宣伝をしたりとか、そういうようなお仕事でしたね。

◆それで高知県中を回って。え？

それやりつつ教師？

いや、レポートが先です。



◆で、臨時講師みたいな？

はい、臨時講師で。その時の校長先生には、ぜひ続けてくれって言われたんですけど、やっぱり性に合わなかったんでしょうかね。生徒には凄く人気があったんですけど。先生同士のややこしい中に、どうしても溶け込めず。

◆校長からやってくれて言われ、生徒から人気があったという事は、結構良い教師だったんじゃない？

そうだったのかなあ？だったら嬉しいです。破天荒な音楽の先生だったので。音符も気にしないし。なので合唱とか合奏とかいうものは、私

の教室ではやりません！みたいな(笑)。とにかく大きい声で歌った人が100点！って言う(笑)。

◆それは正しいです。ボイストレーナーでね、大本恭敬っていう、新御三家とか明菜とかやってた、「スター誕生」の審査員もやってた、日テレ音楽学院の学長やってた方なんだけど、大林監督の「時をかける少女」の高柳良一君って、下手なんで普通なら演技レッスンするところを、その大本恭敬さんに預けたの。大本さんが彼に何をやらしたかと言うと、何でもいから一曲人前で堂々と歌えるようになれと。で、彼は郷ひろみの曲を何ヶ月か通って。で、ロケ行つて宴会とかになるでしょう。それまでは割とおどおどしてたのが、もう人前で堂々と歌い切る。それで芝居もできるようになった。

凄い。まあ、その頃はちゃんと言葉では言えなかったんですけど、二本足で立てる人間になって欲しかったので。いわゆる人前でおどおどしたりとか、何か自分なんて俺なんて私なんて、って思われるのが嫌だったので、とにかく自信を持って、大きな声で、もう音程なんかどうでもいいから、っていうのを伝えて。そ

したら、いわゆるその頃、「不良」と言われる人の方が大きい声でね、歌ってくれるようになった。

◆正に、大本さんと同じ考えだね。凄いい！よかった！(笑)。

◆正しかった！「うた魂」という映画で、不良のコーラスグループが尾崎豊を歌うんだけどね。それで、高知にいて、また東京に出てこようと思っただけは？

もう、これは言っているのかな(笑)、その時に結婚しようと思ってた人がいたんですけど、その人に振られちゃったんですよ。なので、もう振られたし、もう高知に未練もないし、もう一回、じゃあ自分にだけ焦点を当ててみるのもいいかなって。なので、20代後半で上京してもう一回やってみようって。それでチャレンジしたんですけど、それが役者になるとは誰も思いもなかったんですよ。

◆別に何になろうっていう事じゃなく、とりあえず高知を出ようかと？はい。その時に月に一回とか、二ヶ月に一回、高知から東京にポイトレに通ってたんです。その先生は本当

にクラシックのみの先生で、あいうえおの母音とハミングしか教えてくれない先生だったんですけど、その先生に鍛えられて、本当に穏やかないい先生で、その先生の所にずっと習いに行きたいっていうのがあって上京してきたら、何か知らない間に役者になってた感じですね。

◆高知に一年半いてポイトレには通ってたという事は、やっぱり歌手とか、そういう事が視野にあったの？

高知で「第一回オペラよさこい節」っていうのがあったんですけど、私、出てるんですね。高知の純信とお馬の話が題材にした「オペラよさこい節」というのは一昨年ぐらいにもやったんじゃないかな。それは二回目なんですけど、一回目の方に私出して、そついうのもあって、歌はずっ

とやりたかったんでしょね、きつとね。

◆「オペラよさこい節」はオーディションかな？

オーディションと言っか、「コネとどう言っか、「出てみない？」みたいな感じで言われて、出させて頂きました。「何とか2」っていう役だったんですけどね(笑)。ほんとに、本番に強いタイプで、その前の日まで全然声が出なくて、いわゆる指揮者、監督さんに凄く怒られてたんですけど、本番の日だけ神がかり的に声が出たんですよ。とにかく、芝居もそうなんですけど本番に強いタイプ。

◆今でも変わらない？それは。今でも変わらないです。

◆じゃあ、ラジオのMCもできるんだね。そつなのかも。

◆ラジオのリポーターなんて、まったくもうぶつつけじゃない？

そつですね。本当に、聞いている人をドキドキさせちゃうんですけど、すいませんが、私のリアクションがそのまんま出るので(笑)。私はあ

んまり打ち合わせしないタイプなんですよね。

◆成る程。また東京に出てきて、ポイトレナーの所に行つて、そこからミュージカルのオーディションを受けたところにつながるわけだ。

はい。で、そのミュージカルの作家がどんどん売れ始めて、その人がTBSの「ホットマン」っていうドラマを書いたんですよ。反町隆史さんが主演で。あと女性は色んな人が出てきたんですけど。「ホットマン1,2」と、あの頃すごく視聴率が良くて、それにレギュラーとして出させて貰ったのが一番大きな仕事でした。後は「アストロ球団」っていうのにレギュラーで出させて貰つて。アニメが元々で、何か訳のわからない(笑)。テレビ朝日がドラマ化して。

◆それはどういう役なの？

ラーメン屋のおばちゃんでしたね。毎回出てきて、ラーメン屋のおばちゃんって話を色々聞いたりとかする感じなんですけど。球児達の叱り役？片や「ホットマン」はスナックのママで、毎回、誰かしらが飲みに来て、色々相談して来たりして、い



わゆる反町さんとかの相談役。

◆映画は、「アダン」に出てるね。画家（田中一村）の話だね？

そうですね、そうですね。南国の地元の人っていう役だった。何か別の芝居のすぐ後に口ケだったんですね。眉毛をぼうぼうにできてきて下さうになるまで時間なくて。その前が別の芝居なんで、みたいな感じで。その時に台風が何か来て、ちょっと撮影が伸びちゃったみたいな感じだったんですね。

◆舞台終わってすぐだったら大変でしたよ。

言っても私はそんなに出演がなかったんで。ただ、田舎のおばちゃん風情のある歩き方が最高！って五十嵐匠監督には褒められました。

◆キャラは全部通して、おばちゃんキャラなんだな（笑）。

おばちゃんキャラは割と得意ですね。

◆初めて由湖さんの舞台で見たのが高橋いさをさん（演出）の、温泉のお湯を沸かしたのどうのこうのって



いう、グローブ座でやった（MIKOSHI）美しい故郷へ」。学芸何人かで行ったよ。あれも地元のおばちゃんの役。

そうですね、あれも地元のおばちゃんですね。有名な、ほら、顔は出て来てのに思い出せない、ひどいよね、24期ともなれば、こういう感じになっちゃうんですね（笑）。

◆あれだよ、あの、

CONVOYの。

はいはいはい、THE CONVOYのSAMさん（石坂勇とタツプのJURUさん（瀬下尚人）と、二人が出てましたね。

◆あの時に二人目の子供の出産直後だったんでしょ？ 楽屋で授乳してたって聞いたけど。

そうそうそうそう。楽屋で授乳も

してたし、休憩中に搾乳してたんですね。

◆ご主人が、由湖さんが舞台上がっている時に、搾乳したのを子供に飲ませていたとか。

そうですね、そうですね。10月4日がうちの息子の誕生日で、1月にもう舞台だったんですね。なので、生まれて二ヶ月後には、もう私、舞台踏んでたので。生まれてすぐぐらいの時に、もう稽古に行ってるんですね。仕事のオフアワーを頂いた時に、「あのう、どうしても母乳で育てたいんで」って四の五の言ったら、搾乳すればいいとか、色んなアドバイス頂き、稽古中に「今から休憩しまーす」って言ったたら、「搾乳タイムです」って言うてくれて、皆が静かにしてくれるんですね（笑）。静かにして貰ったら困るんですけど（笑）。

◆本当に今思えば、よくやったなって思うんですけど、おっぱいにですね、搾乳器を当てて吸うわけですよ（笑）。その吸う音が、シュコン、シュコンという音だけが響くんですよ、稽古場に。私は、そのシュコン、シュコンという音をただひたすらシーンとした稽古場で流しながら、「誰か喋ってくれないかなあ」なんて思い

ながらね（笑）。

◆普通なら断るよね。

一応言ったんですよ、高齢出産だし、何が起るかもわからない話なので、どうすればいいですかね？なんて、やっぱりお断りしようと思ってたんですけど、「いやできるよ、由湖なら」みたいなこと言われ（笑）。

◆それは誰に言われたの？

それは、樫田さんです、方南ぐみの作家が書いたの。

◆劇団の座長が、「由湖ならできるよ」ということで。じゃなきゃ、やらないわね。普通。

そうですね、なかなか引き受けられないですけど。責任も取れないし。

◆日那さんはよく協力してくれたよね、毎日。

ねえ。よく見てくれたなっていう感じですよ。

◆ご主人は、お仕事は？

その時は、会社勤めでした。

◆じゃあ、定時に終わって、稽古に

来て？ 凄いですね。逆の意味の内助の功。

定時までは（子供を）預けておいて、そこからピックアップアップして、みたいな感じですね。

◆我々見に行った時も、ご主人横にいて子供抱いてましたもんね。

もう本番中はずっと休みを取って、連れてきて貰ってました。

◆「趣味、子育て、右脳教育」ってプロフィールに書いてある。「子育て」が趣味になってるのね（笑）。「右脳教育」って何？

「右脳教育」に、ある時、出会いまして。右脳教育というより潜在能力開発みたいな事をやってくれる所だったんですよ。そこから、「え！脳みそって凄い、人の潜在能力って凄いつて！」って事に色々気付きまして。そこから、人の計り知れないエネルギーと言つか、大きさとかいもの、非常にのめり込み始め、何か凄くなって、人間って。

◆右脳は感情とクリエイティブな部分で、左脳が論理だっけ。

そうですね、そうですね。子供にする為の教育として学んだ事が、自分が

逆に興味を持つちゃってみたいな。だからインスピレーションとか、いわゆる超能力とか予知能力とかっていうのも、右脳を働かせればできるような事を言ってる、「へ〜」っていう。

◆第六感みたいなね。それで、「子育て」と並べて書いてあるわけだ。

そうですね。私は子育てをするこ
とによって、自分の芝居も凄く全然
変わってきたので。簡単に言つと家
の中では毎日が本番、みたいな感
じ？子供って嘘で叱ったり、嘘で
怒ったり、嘘で笑ったりとかつてい
うのを見抜くので、なので本当に
怒ってる時には本当に怒ったエネル
ギーを出さないと通用しない。金切
り声を出せば言うこと聞かなくてわ
きゃなくて。怒ったエネルギーで静
かにものを喋っても言うこと聞か
ない。だから、自分のエネルギーをコ
ントロールするには、本当に子育
てをしながらつていう時が一番上達
できましたね。

◆芝居と同じだよ。その気持ちにな
ってやらないと役にならないとい
うね。それは正に演技論だよ。そ
ういうのは初めて聞きましたね、子

育てを応用するというのはね。最近
小さい舞台引退宣言をしたというの
は大きい舞台は引退はしてないの？
（笑）いや、要するに、ご存知だ
と思っんですけど、小劇場ってギャ
ラは出るんですけど、微々たるもの
で。やっぱり小劇場って何が皆で必
要かって言つと、飲みに行ったりと
かコミュニケーションとったりと
か。その飲み代が出るわけじゃ無
しつてなつてくると、本当に手弁当
と言つか、逆に持ち出しの方が多く
なるんじゃない？っていうぐらいの
ギャラしか頂けないですよ。

◆それはそう。私も出ますからわ
かります（笑）。完全な持ち出しです。
なので、簡単にいうと、仕事って
言えない部類になる。趣味じゃない
？って言われても「あーそうですね」



つて言わざるを得ないような状況な
ので、それをね、（子供の為に）ちゃ
んと仕事をしなきゃいけない歳に
なった時に、それを言えないなど。
私としては「役者です」って言つて
も、食べていける金額を毎年頂いて
るわけでもないのについていうよう
なところから、じゃあ、「お金になら
ない事はキツパリ自分の中で切っ
て、ちゃんとお金になる事だけで、
とりあえずやってみよう」というよ
うな事がきっかけです。

◆だけど、そこでギャラになる仕事
しかしないうつていう事になると、結
局仕事減っちゃうよね。

勿論。なので私の中では女優卒業
ぐらいの気持ちだったんですけど。

◆それは、やっぱり演じるという事
に対する未練とかとは別のかな？

やっぱり、演じるっていう事は好
きなもので、演じる事、女優という事
じゃなしに、何かをやってみたい
なつていう気はするんですけども。
不思議なもので、それこそ今日の話
ですけど、ある方から連絡が来て、
「11月空いてるか。映画の話を持っ
て行きたいと思ってるんだけど」っ
ていうようなお話も頂きました。な

ので、色んな意味で「決める」って言うことは次に広がっていくんだなっていう風な、勿論それが決まる訳ではないんですけども「監督さんに話を通しといたからね」っていう感じでお話を頂きまして。だから、成る程なあって。お金になる仕事しかなさって言ったからお金になる仕事が入ってくるようになるのかなあなんて思ったりして。それはまだ全然未来はわからない事ですけど。

◆ところで、お子さんは、おいくつになったの？

20歳と14歳です。

◆そうか、上の子がそろそろ社会人になる。何をしたいっていうのは決まってるの？

アクセサリー作家なんですわ、今のところ。頑張ってるんですけどね。なので、いわゆる本当に、定時で働いてっていうような感じではないの。で、「あー、しんどいところあなたも生きていくのね」っていう感じではございますけれども、私には何も言えないっていう感じですね(笑)。

◆親の雰囲気ってのがあるのかねえ、(子供が)そういう風な世界で



生きていくっていうのは。

どうなんでしょうねえ。でも、私の親は医者だったので。だから、ちゃんとした人だった筈なんですけど。

◆ご主人、サラリーマンでしょう？

元は、東芝という会社に勤めておりましたけど、今は介護が原因で、その会社を辞めました。で、主人の方の父親が亡くなった事をきっかけに、いわゆるアルバイト雑誌を見て仕事を見付けて行くみたいな感じになりました。サラリーマンとかいうわけではないです。

◆それでもまだまた二人子育て中で、(夫婦)二人とも自由業という。

そうなんです。大変ですね、そういう意味ではね。

◆ましてや、このコロナで、映画だっ

て本数減ってるし。ラジオはレギュラー？

ラジオは毎週やってます。

◆折角ですから「あさかぜ」読者の皆さんに宣伝を。

毎週水曜日ラジオフューズ(<https://radio-fuchues.tokyo/>)というところで、12時から13時30分まで、「ゆっこことくりたいむ」っていうのでやらせて貰ってますので、ぜひ聞いて頂ければ嬉しいです。後は、月曜日の夜の9時半から10時まで、これは開運情報と致しまして、見えない世界の事を色々とお話して下さる先生をお呼び致しまして、私がパーソナリティで30分の番組をやらせて頂いていますので、こちらもお合わせて聞いて頂けると嬉しいかと思えます。

◆見えない世界って、その、スピリチュアル的な？

そうですね。開運する為には、あしたの方が良い、こうした方が良い、今はこういう時期なのでこういう事に気を付けて、こういう事をした方が良い、みたいなお話をして下さいます。

◆番組の名前、何ですか。

月曜日の方は「吉や虹色チャンネル」。放送局は、ラジオフューズというんですけども、「Listen Radio」っていうお猿さんのマークのアプリをダウンロードして頂きますと、もう、地球上どこからでも聴いて頂けますので。日本のリアルタイムの時間でしか聞けないんですけど、是非聞いて下さい。ていうかゲストで出て下さい。

◆将大君(近藤将大、あさかぜ32号の「SPECIALインタビュー」参照)は呼んだの？

呼んでない！ まだ出てない！

◆彼もね、5月にやる筈の舞台が飛んじやって。ライブは結構やってるけど。だけど、ラジオでライブの宣伝するわけにもいかないしね。

いや、もう何でも宣伝して貰っていいですよ。私、自分の事を喋るより聞く方が好きなので。ゲストでどなたか来て頂いたら、もう根掘り葉掘り聞くのが大好きなので。

◆(学芸卒は)ミュージシャンは、一杯いるしね。

うんうんうん。本当だ。

◆長谷川千紗さん（あさかぜ32号の「各期の声」参照）が、「芸芸で芸能界に行ってる人いるとは知りませんでした」って言うから、「一杯いるよ！」って。

一杯いますね。知り合えて良かった、ほんと。

◆コロナじゃなければ、総会で集まって、会って飲みながら情報交換が色々できるんだけど。特に我々の世界はそういうこと（お互い）知ってないよね。正にコネが大事、フリーランスは。

飲みの席で仕事が決まる、みたいなね（笑）。

◆だから、よけい仕事が減ってきている。後、何か由湖さんからこれだけは言っておきたいみたいなのある？

これからは、いつまでできるかどうかかわからないんですけど、お喋りの仕事をやっていきたいなあっていうのと、後は、やっぱり父からの遺言で「お前には歌をやったろう」という言葉が耳から離れないので、歌をどっかで披露する機会をどうし

ても作りたいなっていう。それはもう小っちゃな所でもいいので。そうだったパフォーマンスをしていきたいっていう風に思っております。

◆その為のレッスンとかは やってるの？

やってないです。

◆（笑）。

何にもやってない。自己表現あるのみ。

◆今は所属は、フリーランス？

いや、吉田羊ちゃんと一緒に劇団を立ち上げた人がプロダクションを作ったので、「由湖さん、入ってくれない？」っていう話から、「入る入る」って二つ返事で入らせて貰ったっていう感じです。またその名前がプロダクション「芸芸」って言うって、芸芸の字をひっくり返した漢字なんです（笑）。こつち側が、プロダクション「芸芸」のホームページです（<https://gei-gaku.com/>）。

◆もう、こんな「芸芸」って縁があるね。「あさかぜ」の読者の皆さんに向けて、ひとことないですか？

今日のラジオでも話したんですけど、ちょっと長くなりますが。うちの水漏れがね、急に靴箱の横から水漏れ起こり始めて、何だこれは？と。靴箱をどかさないとわかんないぞって言うので大事になったら困るので、とりあえず大家さんに見て貰おうと。その靴箱を外す為には靴を全部どかして山盛りにして、靴箱をどかしてって、色々騒動をしてたら、靴が余りにも大量にあり過ぎて、この靴捨てなきゃ！もう絶対捨てる！って心に決めて大家さん呼びに行ったら、それトイレの方から水が流れて来てんじゃないの？みたいな事でトイレを覗いて貰ったんですね。したらトイレがうちはウォシュレットじゃなかったんです。で、うち、賃貸住宅なので、ウォシュレット付けてないのは大家の責任だって大家さんが言い始めて、ウォシュレットに変えますよって話になって。とんとん拍子になぜか、水漏れからのウォシュレットが来訪みたいな事になったんですよ。

私が言いたかったのは何かと云いますと、水漏れっていうものを悲観的に捉えなかった家族がいて、どこから出て来てんの、この水っていうのが、いわゆる結果オーライになっ

たっていう事が、最近の私の中の一大イベントと云うか、一大ニュースで。物事全ては捉え方なんだなっていう事ね、もの凄く感じた事件だったんですよ。

なので、この世の中で起こってる事全て、「物事は捉え方なんだな」って思う事によって全てを明るく捉えられるし、辛くも捉えられるんだなと。逆に明るく捉えたら明るい未来が来るのかもしれないっていう事を体感した事だったので、皆様も明るく色んな事を捉えてみては如何でしょうか、というお話でございました。長々聞いて頂きありがとうございました。



各期の声

コロナとヒマラヤ

13期 山田和也

新型コロナウイルス感染症が世界的な拡大を見せ始めた昨年3月、ネパールに向かいました。世界3位の高峰カンチェンジュンガ山群（8586m）を巡る山旅の様子を取材、NHKBSで放送するためです。カンチェンジュンガ山群は8000m峰4座、7000mを越える峰10座が連なる世界最大級の山塊。巨大な山群のまだ撮られていない絶景を探そうという企画です。まだ撮られていない画にこだわっているのは、テレビジョンとはテレ（遠くにある）ビジョン（光景・映像）を見せること、それがテレビの原点であると感じているからです。



韓国 EBS 国際ドキュメンタリー映画祭にて



カンチェンジュンガ主峰

カンチェンジュンガは、チベット語で宝物を秘めた五つの大雪山「五大宝蔵」を意味します。取材テーマは「五大宝蔵」を新しいアングルから撮影することと決まりました。新型コロナウイルス感染症がネパールまで広がってしまった、国境閉鎖の可能性も出てきたため慌てて出発。ネパール政府は入国の条件としてPCR検査の陰性証明書を要求していましたが、当時日本では無症状者がPCR検査を受ける事はできず、「COVID-19の症状はみられない」という頼りない英文健康診断書しか用意できませんでした。不安を抱えながら到着したカトマンズ空港では、案の定、診断書が問題になりま

したが、コロナに対する警戒が比較的薄い頃だったためか何とかパスしました。

カンチェンジュンガ山群には、まず北側からアプローチ。標高6000メートルの高さからドローンを上げてみました。が、「五大宝蔵」のうち3峰しか画角に入りません。5つの峰が揃うアングルを求めて山群の南側に向かって迂回を始めましたが、コロナウイルス感染拡大によるロックダウンが始まり、途中の村で村境を越えることが禁じられました。規制線内で5つのピークが撮影できる場所まで上がるには未踏の斜面を登るしかありません。世界的なクライマーでもある中島健郎カメラマンをリーダーに新ルートを開くことになりました。目指すは、山群の南に聳えるボクタ・ピーク（6143m）。その頂からなら5つのピークが望めるはずだと読んでいました。カメラマン2人が、深雪、クレバス、氷壁などヒマラヤの危険要素が凝縮されたルートを登りきり、カンチェンジュンガ山群にドローンで接近、「五大宝蔵」を新たなアングルから撮影することができました。しかし、ネパール全土におよぶロックダウンによって移動の自

由が奪われ、それ以上の取材はあきらめざるを得ませんでした。

帰路、公共交通機関は陸も空もすべて運休。ジープを雇い、カンチェンジュンガがあるネパール東端から首都カトマンズまで（直線距離で240km）走り抜けました。その間、50ヶ所で非常検問が行われており、通行許可を持たない者は追い返されていました。ネパール政府がいかに感染拡大を恐れているかひしひしと伝わってきました。外出禁止令によってゴーストタウンのように様変わりしたカトマンズで特別チャーター便が出るまで1ヶ月間ホテルに隔離されたことも得がたい経験になりました。



カンチェンジュンガ山群ジャヌー峰撮影

北海道で頑張っています！

35期 林直孝

35期の林です。現在、自衛官として勤務しています。学芸OBにも自衛官の方がおられる中で、私でいいのかという思いもありますが、せっかく機関誌「あさかぜ」に寄稿の機会をいただきましたので、近況報告を含め自衛隊勤務について書かせていただきます。

私は、中高6年の学芸生活に引き続きアカデミーに1年通ったのち、運良く防衛大学校に合格でき、自衛隊人生がスタートしました。防衛大学校は、自衛隊における幹部を育てるための学校であり、定期的に訓練をしながら大学卒業の資格を取得できます。卒業後は九州にある幹部候補生学校というところで半年間勉強をしたのち、配属された部隊でさらに半年間実習を重ねて、はれて幹部に任命されます。私の場合は、北海道の網走（網走刑務所で有名）の近くにある美幌町というところで幹部に任官しました。

幹部自衛官になって20年余り、教育を受けたり訓練をしたり多くのことを実施してきましたが、最も記憶に残っているのはやはり東日本大震

災での災害派遣です。その際、私は、宮城県石巻市に派遣され、悲劇の大川小学校やそのさらに海岸側で、人命救助や復旧支援にあたりました。被害にあわれた方の様子や表情や話は居たたまれないものがありますが、それでも、活動を通じて現地の方の笑顔を見れたり、感謝の言葉をいただいたりすると、自衛隊として災害派遣に従事できてよかったと感じました。それ以降、熊本地震や令和元年度の台風19号に伴う水害では、現地で活動することはできませんでしたが、自衛隊としての活動は現地の皆さんに感謝されていると信じています。

令和2年8月から、私は北海道の留萌市という場所で勤務しています。その前は、4年間神奈川県で勤務し、その間は久々に学芸の同期と再会を懐かしんだり、関東支部同窓会にも2回ほど参加できました。今回3度目の北海道勤務ですが、過去2回は北海道東部（道東地区）であ



り、降雪があまりない地域であったのに対し、留萌市は西海岸地域であり、雪が多いことに加え海風で地吹雪になる地域なので、冬は苦戦しています。しかしながら、地元高知に劣らず自然が豊かで、夕日もきれいで、条件が整えば宿毛と同じく『だるま夕日』を見ることが出来ます。都会のような娯楽は少ないですが、コロナに気を付けつつ、自然を楽しむ場所として、運動と海鮮料理と温泉を楽しむながら仕事に励んでいます。北海道にお越しの際は、と言いたいところですが北海道は広いので、北海道北部（道北地区）にお越しの際は、連絡ください。

少し話は変わりますが、自衛隊においても働き方改革の取り組みがなされています。女性活躍推進として女性自衛官の採用枠が増えたり、労働時間短縮として残業縮小や休暇取

得推奨をしたり、さらにはパワハラ防止やコンプライアンス確保など。私が防大生の頃は、皆さんが想像する『自衛隊の指導』がありました。今はパワハラやいじめは厳しく禁止され、理不尽な指導はなくなっています。個人的には、自衛隊に必要なのかと疑問に思う働き方改革もありますが、自衛隊も間違いなく一般社会に後れを取らないよう、改革が進んでいます。皆さんの周りに、もし自衛隊に興味がある方がいましたら、近くの自衛隊でも、私でも、連絡を頂ければと思います。

長くなりましたが、最後に、関東および高知県をはじめ、全国のコロナが落ち着き、自由に飲み会ができる日常が早く戻ることを願うとともに、再び関東勤務に戻り、学芸同窓会関東支部に戻る日を楽しみにしています。

あさかぜでは、「各期の声」に投稿していただける同窓生の皆さんを募集しています。日本全国から関東支部の皆さんに近況をお知らせいただける方は、31期西田まで。

junya.nishida@gmail.com

特別寄稿

エベレスト展望

トレッキング紀行

「ビスタリーの国・ネパール」

3期 岡田 美奈子

長年の趣味であるトレッキングも終わりに近づいてきたので、2019年11月、冥途の土産にすべく、「エベレスト展望トレッキングツアー」でネパールへ行ってきた。最後の下りは4200mのコンデロツジからルクラまでヘリコプターを利用する。大きな荷物はポーターさんやゾッキョ（ヤクと牛の交配種）に運んでもらう。私は、さらに個人でポーターさん（17歳、3000円×4日）を頼んだので、自分で運んだのは500ccのペットボトルと貴重品だけという軟弱トレッキングである。

「ルクラまで」

大韓航空利用。成田からインチョン乗り換えでカトマンズへ。インチョン空港の立派さには目を見張った。カトマンズでプロペラ機に乗り換え、高度2840mのルクラに行く。ルクラから先は鉄道も自動車用

道路もなく、あらゆる生活物資（プロパンバスのボンベ、家や橋を造るための建材、ミネラルウォーター、米や麦等々）も、我々の荷物も人間か動物が運ぶしかなく、旅行者も歩かない。

「ナムチェからクムジュンへ」

チベットとの交易で栄えたナムチェ3440mまで3日をかけてエベレスト街道を歩く。モンジヨに1泊、ナムチェに2泊したが、さらに奥地のクムジュン約3900mなる



ヒラリー高校 2015年の地震で大破したが各国の援助（日本も）で復興。校庭では男子生徒がサッカーをしており、女子生徒は見ている。室内より戸外のほうが暖かい。

シエルパ族の里へも寄った。ここには「ヒラリー高校」があり、富士山より高いところにある校庭で学生たちがサッカーに興じているのには驚嘆した。こちらは歩くのがやっと。クムジュンでは、雪男（イエティ）

の頭皮がガラスケースに鎮座されているチベット仏教寺院を訪れた。ツアーリーダー西川さんによると、くだんの頭皮を数年前に西洋の研究所がDNA鑑定したところ、「カモシカ」という結果が出たとのこと。ただ、頭皮なるものはいやに尖っており、カモシカのどの部分かがはつきりしない。

歩行の先頭は、シエルパ族の青年アンカミさん（24歳）。「ビスタリー、ビスタリー（ゆっくり・ゆっくり）」と唱えながらリードしてくれる。「ビスタリープリーズ」と二番手に続くが、息が苦しく喘ぎ喘ぎの歩行となる。無事ナムチェに到着した時は、好天と幸運に感謝。

ロッジはツインベッドに、温水シャワーと水洗トイレ、電気敷き毛布（韓国製と中国製）まで備え付けの快適さ。日本の山小屋とは大違いである。西洋人がトレッキングに来るようになってからの歴史が長いので、西洋並みの設備になったのだろ

う。古くは水力発電のみだったそうだが、現在はあちこちに太陽光発電パネルが設置されている。それでも供給が追い付かずシャワーは早い者勝ちで、夜には水になってしまふ。

「食べ物あれこれ」

エベレスト街道には、ルクラからナムチェまで土産物屋、カフェ、レストラン、ロッジなどが切れ目なく続いている。このツアーでは食事が全てついており、昼は、道端のレストランに寄ってパスタや中国風焼きそば、フライドポテト等を食べた。ツアーリーダー西川さんの大サービースで、ランチの際、日本から持ってきた切り餅の磯辺焼きが2回、乾麺を茹でて関西風の薄味かけうどんまで出てきたのには感激した。高度が高いため、うどんの芯が十分抜けていなかったのはご愛敬。ロッジではチベット風の火鍋料理がおいしかった。ネパール料理はスパイシーなダールカレー（豆カレー）がよく供され、あとはチキンカレーとモモという餃子に似た料理など。日本料理と称して、みそ汁やお浸し、肉豆腐、茄子のきんぴらなどが何度も出てきたが、いずれもいまいち。現地料理のほうが美味しかった。

カトマンズ郊外の日本蕎麦屋で食



右：ローツェ、中央後ろがエベレスト

べた「そばコース」は浅草の蕎麦より美味しい。戸隠で修業したネパール人（奥さんは日本人）の店だが、内装もネパール風というか豪華だし、高台にあつて展望も良い。庭にはヒマラヤザクラが咲いていた。そば粉はネパール人も昔から食べていたそうだ。天ぷらのエビはどこから来るのだろうか。インドからだろうか。

〔エベレスト〕
エベレストは、カトマンズからは見えないし、エベレスト街道をひた

すら歩いても手前のローツェ山8516mが邪魔をして、ナムチェからでも頭のほうしか見えない。エベレストよりは、天に向かってそそり立つアマダブラム山や、バルタン星人のようなナムセルク山が印象的だった。それでも、ナムチェのロτζの裏山から金色に染まるエベレスト山やタウツェ山を見た時には「大変、山が燃えているわ」とアルプスの少女ハイジのセリフをパクったし、見飽きない光景だった。

〔クマリ〕

カトマンズの隣のパタン市にある世界遺産の寺院では、100ルピー払うと、ヒンズー教の「クマリ」なる生き神様（なんと5歳の少女）に拝謁が叶い、額に赤い祝福の印をつけてもらうところを撮影させてくれるのは心底驚いた。シャキア族の賢い少女数人が候補となり、様々なテストを受けた後、一人だけが生き神様になれるのだそうだ。初潮が始まればお役御免で両親のもとに返され、年金がもらえらるか。人前で泣いたり笑ったり、感情を出すことは禁じられており、自力歩行はしないとかで我々の前に現れる際も「侍従」のような男性に抱かれてきた。英語や、その他の勉強（何だろうか？）は



クマリの祝福を受ける旅行者

しているし、賢い子が選ばれるそうだが、幼児虐待批判が肯ける。「子どもはアンパンマンやドラえもんやシンデレラを見て、泣いたり笑ったりしなくちゃいけない」のだ。

クマリは神様だから、昔は国の将来を予言したし、国王より偉かったそうだ。共和制になっても残っているが将来はどうなるかとのこと。クマリは一人ではなく、カトマンズのクマリが「ロイヤルクマリ」といって、位が一番高く、撮影は駄目で、一日に2回窓から顔を出すだけ。祝福を授けたりはしない。我々が祝福を受けたのはローカルクマリとのこと。

〔お葬式〕

カトマンズ空港近くのヒンズー教寺院で、火葬の現場に立ち会えたの

も興味深かった。ガンジス河の支流であるバグマティ川の岸辺に建つ寺院に親族が集まり、遺体の頭のそばと足元に線香をあげながら、業者が薪を積んだり、四隅に柱を立ててそこに花を飾ったりして火葬の準備しているのを見守っていた。遺体をひつぎには入れず、オレンジ色の布に包んで地べたに置いてあるのもびっくりした。遺灰はバグマティ川に流される。

父親が死んだときは長男が、母親が死んだときは末っ子男子が火をつけるのが習わしだが、最近では女の子しかいない家庭も増えてきて、10年



パシュマティナート寺院での火葬

ほど前に娘が火をつけた時は、大ニユースになったそうだ。

骨まで焼き尽くして灰にするためには、薪だけでは火力が足りず、油と砂糖をかけるとよいとは、ネパールでの火葬を経験した西川さんの言。

11月24日に、「エベレストビューホテルの建設者、宮原たかしさんが、カトマンズの病院で亡くなった」というニユースが、西川さんに届いた。ネパールを愛してネパール国籍を取り、政党まで作って政治にかかわろうとしたが、その思いは十分果たせなかったらしい。エベレストビューホテルの今後も不透明とか。我々がビューホテルへお茶を飲みに行ったその日が火葬をする日で、ヘリコプターで運ばれたご遺体はホテル近くの広場で茶毘に付された。

「ネパール」

宮原さんと当時の友人（名前を失念）が3800mのシャンボチエに、小型機が離発着できる空港を切り拓いたが、開港当時数回使ったきりとかでペンペン草が生えている。地元のポーターたちが「自分たちの仕事がなくなくなり生活できなくなる」と反対。空港をヤクの大群で埋め尽くし、離発着の邪魔をしたそうだ。



タムセルク山（岡田命名バルタン星人）6779 mとヤク

宮原さんたちは空港使用をあきらめ、今は草地となりヘリコプターの離発着地と資材置き場となっている。

日本人トレッカーは老人ばかりで、同じ日に成田を発ったアンナブルナトレッキングに80代の男性が参加していた。現地ガイド・マダンさんが「もつと若い日本人に来てほしい。日本人はネパールにはトレッキングしかないと思っている」と嘆いていたが、ほかの魅力って何だろう。日本の若者は海外旅行をあまりしないそう。海外へ出れば、視野が広がると思いますよ。

カトマンズ・ネパールの発展のためには「地下鉄建設」が良いのではとの私の提案を、夫は「駄目だ」と理由も言わずに即行否定した。

チベットからネパールへ鉄道を通すという提案が、中国からあるらしいが「国を乗っ取られそう」と躊躇してるとかしてないとか。素晴らしい自然との調和を図りながら、さらに発展してほしい。

★ネパールでは、多くの人が生活を観光に頼っています。コロナ禍の今、シエルパ族のアンカミさんや、現地ガイドのマダンさんの生活はどうなっているだろうかと思いを馳せます。ヒマラヤの峰々の輝きのように、ネパールの人たちに元気でいて欲しいです。



特別企画

部活動発表会の

お知らせ

我々の母校、学芸高校の生徒の皆さんは、コロナ禍の影響により、部活動の成果を発揮するはずの発表会やイベントの場が中止や縮小になってしまっています。

そこで、今回の10月23日（土）に開催予定の第34回総会（オンライン開催）では、昨年の総会に引き続き、特別企画として、学芸高校の部活動発表会を行う予定です。

部活動発表会への参加表明をいただいた部の顧問の先生方からメッセージが届きましたので、ご紹介します。

「男子バレーボール部」

OB会が1期生から昨年卒業した62期生までつながっている男子バレーボール部です。昨年からのコロナ禍で、練習や大会を奪われ満足に活動ができぬまま1年半が過ぎました。ただ、生徒はやる気十分で短い練習時間に集中し、中身の濃い活動を続けています。これからも高知県内ベスト4以上を維持し先輩方に喜

んでももらえるように頑張ります。応援をお願いします。

〔ソフトボール部〕

関東支部の皆様、こんにちは。ソフトボール部です。私たちは現在、プレーヤー12名、マネージャー2名の14名で活動しています。コロナ禍の影響で十分な活動ができていない部分もありますが、先輩方が築いてくださった伝統を守るべく日々ソフトボールに向き合っています。ソフトボールができる環境を整えて下さるすべての人たちに感謝し、常に全力でプレーをしていきます。応援よろしくお願ひします。

〔剣道部〕

関東支部の皆様、こんにちは。剣道部です。剣道部は「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である。」という剣道の理念に基づき活動をしております。現在の部員は、高校生14名（男子8名・女子6名）、中学生17名（男子13名・女子4名）です。県の中高生の剣道人口が減っている中、今年度は中学1年生が10名も入部してくれました。「継続は力なり」の精神で最後まで続けてくれることを願っております。今年度は、高校

生男子団体の部で春季大会、高校総体高知県予選ともに第3位に入賞し、四国大会出場を果たすことができました。今現在は、高校3年生が引退し、新チームで秋季大会に向けて練習をしているところです。剣道は、コロナ禍の中、感染予防ガイドラインに基づき、マウスシールドやマスクを着用、その他さまざまな制約があります。そんな中でも生徒達は、今できることにしっかり取り組み、勉強と両立して頑張っております。今後、関東支部の皆様へ剣道部の活躍の様子が届くように頑張つて参りますので、応援のほど、宜しくお願い致します。

〔華道部〕

こんにちは。華道部です。華道部は、高知学芸高校が創立されて以来、部員数の増減こそあれ、ずっと継続して今日まで活動しています。ありがとうございます。学芸での流派は小原流。高知県での小原流の第一人者である講師に來校して頂き、教えて頂いています。また、入学式に向けて壇上を色鮮やかに彩る大きな花瓶へ小原流の講師の方々が活かしてくださる際のお手伝いもしています。そして、2年に1

度ある如月祭では、高校昇降口を個人作品と合作で華麗にお客様をお出迎えています。

そのような中、昨年度は初めて高校生花いけバトルにチャレンジ！！四国大会で準優勝、高知大会で優勝第3位、特別賞を受賞しました。（詳細はBOX学芸2021第27号22～23ページに掲載）。

これからも、みんなで仲良く精進してまいります。どうぞ、よろしくお願ひ致します。

高知学芸高校同窓会関東支部 会計報告

(期間：2019.10.1～2020.9.30) 2020.10.9

区分	項目及び概要	金額(円)
【収入の部】	1.前期繰越金	894,246
	2.第32回(2019年)総会参加費	416,000
	3.年会費 ・総会当日分(110,000円) ・振込(280,742円)	390,742
	4.祝金(同窓会本部、学芸高校)	130,000
	5.寄付金・銀行利息	14,006
	収入・計	1,844,994
【支出の部】	1.第32回(2019年)総会関係 ・会場・運営費用(学士会館614,075円) ・雑費・交通費(114,193円) ・記念品(11期12,972円)	741,240
	2.案内はがき印刷・発送 ※「あさかぜ33号」は幹事会制作・オンライン発行のため無料	146,940
	3.関東高知県人会	30,440
	支出・計	918,620
【残高】	次期繰越金	926,374

〔同窓会年会費のお願ひ〕
関東支部では、コロナ禍の中、支出を抑えながら「あさかぜ」のオンライン発行や、オンライン総会開催等に取り組んでいますが、会計残高は減り続けています。今後もよく同窓会活動を継続するためにも、年会費振込を何卒よろしくお願ひします。(事務局)

13期生 卒業50周年の お知らせ

13期生の皆様、学芸高校卒業50周年おめでとうございます。

今回の第34回総会はオンライン開催となり、恒例の卒業50周年記念品の贈呈ができないため、関東支部幹事会で協議の結果、第34回総会での記念品贈呈は中止し、来年の第35回総会にて、来年卒業50周年を迎える14期生の方々と、去年卒業50周年を迎えた12期生の方々と合同で、ご出席された方に記念品を贈呈することになりました。

なお、10月23日(土)の第34回総会はオンライン開催となりますが、ご都合がつけば是非ご参加ください。その際は、卒業50周年を迎えたことに関するコメントをいただくと幸いです。ひとりでも多くのご参加を待ちしております。(事務局)

第34回関東支部総会 特別授業の講師紹介

シンガポール科学技術庁
診断技術開発研究所
主席研究員
高知学芸高校同窓会
シンガポール支部長

井上雅文氏(8期)



井上氏は「3年で戻る」とお母様を説得し日本を飛び出し、はや46年以上。その間カナダやシンガポールで感染症に関わる研究をされてきました。シンガポールでは世界45カ国以上で使用されている新型コロナウイルスの検査キットを世界に先駆けて開発し、同国政府が功労者に贈る「ナショナル・デイ・アワード」を受章されました。46年間の海外生活の話題などを織り交ぜながら、海外から見た日本についてご講演いただきます。

同窓会関東支部 役員・幹事名簿

役員	役職		期	氏名	
	支部長	副支部長	6期	石川	明男
副支部長	副支部長	18期	中城	千秋	
副支部長	副支部長	22期	市川	浩幸	
会計	監査	29期	西	雅史	
顧問	顧問	30期	前田	泰志	
		3期	細川	律夫	

常任幹事	役職		期	氏名	
	機関誌編集	H P 管理	23期	伊野部	京子
31期			西田	順也	
36期			藤原	清幸	
41期			長谷川	千沙	
		30期	上村	泰史	

期	氏名(旧姓)
1期	見野 昌宏
2期	津川 武夫
3期	細川 孝一
4期	安藝(大谷) 孝一
5期	多田 惠明
6期	石川 一男
7期	佐野 正子
8期	秋本(十万) 初洋
9期	依川 志三
10期	依川 志三
11期	内藤 志三
12期	西野 新宏
13期	津野 康彦
14期	中野 康彦
15期	西田 善司

期	氏名(旧姓)
16期	濱崎 一彦
17期	藤地 隆直
18期	加城(森本) 千球
19期	中城 三三
20期	種澤(前田) 園子
21期	山崎 章浩
22期	市野 京子
23期	伊野 幸
24期	伊野 幸
26期	木野 正一
27期	宇陀 雄一
28期	岡谷 恭拓
29期	西田 雅英

期	氏名(旧姓)
30期	前田 泰志
31期	友田 謙一
32期	西田 順也
33期	池井(市原) 作卓
35期	林 直孝
36期	藤原 裕清
37期	藤岡 邦真
38期	野坂 真夕
39期	坂東 夕貴
41期	長谷川 千沙
42期	矢野 早紀
43期	森田 真

期	氏名(旧姓)
43期	土田 由紀
44期	松坂 雄介
50期	山本 憲二
51期	本村 二郎
53期	岸本 拓磨
54期	高山 橋中
56期	池田 美結
57期	神内 美聡
57期	竹島 美由
62期	



同窓会会員各位

2021年9月吉日
高知学芸高校同窓会関東支部
支部長 石川 明男**高知学芸高校同窓会関東支部 第34回総会のご案内**

高知学芸高校同窓会関東支部の第34回総会は、コロナ禍を踏まえて、10月23日(土)に、オンライン会議で開催致します(学士会館では開催致しません)。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

- 日 時：2021年10月23日(土)15時～16時40分
- 場 所：オンライン会議
- 会 費：当日会費 無料
年会費 2,000円(下記の通り銀行振込でお願いします。学生は無料。)

式次第

開 場 (オンライン会議への参加開始)	14:30～
総 会 (活動報告、会計報告など)	15:00～15:30
特別授業 井上 雅文 氏(8期)	15:30～16:00
「海外から見た日本」	
特別企画 部活動発表会	16:00～16:40

- 参加申し込み：下記の関東支部ホームページから申し込みをお願いします。申し込みは、準備の都合上、10月13日(水)までをお願いします。申し込みいただいた方には、開催一週間前を目途に、オンライン会議への参加方法などのご案内をメールさせていただく予定です。

<年会費振込のお願い>

年会費(2,000円)は、以下の口座への銀行振込でお願いします。
三井住友銀行 上野支店(779) 普通預金「8224917」
「高知学芸高等学校同窓会関東支部 会計 西 雅史」

<関東支部からの情報発信>

- ◎関東支部ホームページ (<http://kochigakugeikantoob.web.fc2.com/>)
関東支部主催イベントのご案内、会員同士の交流のお知らせ、「あさかぜ」のバックナンバー等、ご覧いただけます。総会・懇親会の出席連絡も簡単な操作で可能です。
- ◎関東支部公式Twitter (アカウント名：@kg_kob)
ホームページの更新や関東支部からの情報を広く皆様へ発信してまいります。フォローをお願いします。
- ◎関東支部Facebookグループ (非公開グループ：高知学芸高校同窓会関東支部)
会員同士が自由に情報を発信して交流を図っています。ホームページの更新等も確認できます。Facebookでグループ名「高知学芸高校同窓会関東支部」を検索し、グループに参加して下さい。既存メンバーに承認依頼するとスムーズです。

**関東支部ホームページアドレス**<http://kochigakugeikantoob.web.fc2.com/>